

平成 30 年度福岡県オリンピック・パラリンピック・ムーブメント調査研究事業
「福岡県オリンピック・パラリンピック教育推進校セミナー」

日 時：平成 30 年 5 月 28 日（月） 15 時 00 分～16 時 40 分

場 所：福岡市博多区博多駅東 1-16-25 カンファレンス ASC（アスク）3A 会議室

参加者数：32 名（推進校 22 名、自治体 8 名、大学 2 名）

概 要：

14:30～ 受付

15:00～ 開会行事

15:10～ 「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の概要」

筑波大学体育系助教 大林 太朗

15:30～ 「福岡県におけるオリンピック・パラリンピック教育実践事例紹介」

福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課指導主事 村山 直樹

15:55～ 休憩

16:10～ 「本事業に係る事務手続き等に関する説明」

村山 直樹

16:25～ 質疑・応答

16:35～ 諸連絡

16:40～ 閉会行事

内容詳細：

● **開会行事**

福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課体育・健康教育班総括指導主事笠井氏より挨拶があった。

● **オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の概要**

筑波大学体育系助教大林氏より本事業の趣旨や目的、事業内容について説明された。また、オリンピック・パラリンピックの歴史や理念、推進校の実践事例の紹介がされた。

● **福岡県におけるオリンピック・パラリンピック教育実践事例紹介**

福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課指導主事村山氏より、福岡県でオリンピック・パラリンピック教育を実施する意義について説明された。5つのテーマに沿った福岡県における実践事例や参考資料が紹介された。その上で、継続可能な実践を奨励した。

● **本事業に係る事務手続き等に関する説明**

村山氏より本事業に係る事務手続き（実践期間、実践数、提出書類、予算の使用法等）について説明された。また、大林氏よりアンケート協力及びオリンピック・パラリンピアン派遣事業について説明された。

その後、質疑応答と諸連絡が行われ散会した。質疑応答の内容は次の通りである。

- ① （質）講師招聘する場合、本事業の予算から謝金と交通費を出すことは可能か。
（答）講師謝金＋交通費（実費）を出すことは可能。ただし、グリーン車やビジネスクラスの追加料金は支払えないので事前に講師の方に伝える。
- ② （質）地元の高校生を講師として招聘する場合（一人はトップアスリート、一人は一般生）、振込は個人口座で良いか。
（答）個人口座に振り込む。
- ③ （質）講師招聘する場合、宿泊費は支払えるか。
（答）講演時間や出張場所によっては可能。
- ④ （質）アスリート派遣の手助けはしてもらえるか。
（答）オリンピック・パラリンピアン派遣事業の活用が可能。
- ⑤ （質）デフリンピックを教材にしても良いか。
（答）可能。



写真 1. 会場の様子①



写真 2. 会場の様子②